

11月の誕生花⑪

誕生花とは生まれた日にちなんで1年365日それぞれに特定の花を割り当てたものです。誕生日には、その日を象徴する誕生花を贈ってお祝いをするなどして親しまれています。



11月4日 [ピラカンサ]

花言葉 「陽気」

ヨーロッパ南部・西アジア原産。

バラ科の常緑低木で、白い可憐な花を咲かせます。冬には、鮮やかな赤や黄色の鮮やかな果実が、枝に鈴なりになります。

11月9日 [ムラサキシキフ]

花言葉 「才媛」

山野に生える落葉低木で秋に紫色の実をつけます。

その実の美しさを源氏物語の作者、紫式部に見立て、名がつけられたとされています。



11月13日 [サザンカ]

花言葉 「なごむ心」

日本原産の花木です。江戸時代、長崎出島のオランダ商館に来日した医師が、サザンカをヨーロッパに持ち帰りました。このことにより、サザンカという和名がそのまま学名にいかされることになりました。



11月22日 [椿 ワビスケ]

花言葉 「簡素」

古くから茶花として愛されている代表的なツバキの品種です。

茶人の千利休が好んでいたとされ、彼に仕え、この花を育てていた者の名前が「侘助」であったとも言われています。



2025
11月

11月3日 文化の日

自由と平和を重んじ、文化の発展を願う祝日です。

日本国憲法が公布された日でもあり、芸術や学問を称えるイベントが全国で開催されます。この日に文化勲章の授与式が行われることでも知られています。

植物家紋 ⑪

柊 ひいらぎ

モクセイ科の常緑小高木の柊（ヒイラギ）の葉をモチーフとした家紋。

柊は聖なる木とされ、鬼払い意味で節分の日に飾ります。魔除けや邪気を払う力があるといわれており、家内安全や信仰的な意義で家紋として用いられるようになりました。



抱き柊

使用苗字：大井、早川、
四宮、岩間



市橋柊（柊に打ち豆）

使用苗字：市橋



柊輪

使用苗字：貫井、丸岡

樹木の雑学 ⑪ 鮮やかな木の実と白い花——自然が教えてくれる共生のしくみ



秋になると、森や公園で赤やオレンジに色づいた木の実をよく見かけます。果実の鮮やかな色は目を楽しませるだけではなく「熟していますよ」と知らせるサインでもあります。目立つ色で鳥を呼び、食べてもらいます。体内で消化されなかった種は、別の場所に運ばれ排出されます。

つまり植物は、効率よく種を広げることが出来るのです。

こうした関係は「相利共生（そうりきょうせい）」と呼ばれます。

赤の色は鳥には目立って見えますが、多くの昆虫には見えにくいようです。虫から注目されない事で食害を防いでいます。植物は「鳥には目立ち、虫には目立たない」という巧みな技を持っているのです。

一方で虫は、受粉を手伝ってくれる存在でもあります。自然界において、最も多い花の色は白ですが、白は夜行性の虫を引き寄せます。また香りでも虫を誘います。

植物たちは色や香りでサインを出し、限られた環境の中で生き抜いています。

自然界のデザインには、植物の知恵が詰まっているのです。

◆本の紹介◆

「11月の行事と旬を 楽しむ本特集」



縁起を知れば、今日がちょっといい日に変わる。

日本人は昔から神社や御朱印、招き猫、だるま、酉の市など

「ありがたいもの」に願いを込めてきました。

本書では、そんな縁起物の由来や信仰、伝承をやさしく解説。

日々に小さな幸運を招き入れたいあなたへ、

そっと寄り添う一冊です。

著者：本田 美加子 出版社：翔泳社



ワインって、奥深くて面白い。

初心者はもちろん、「本当に知りたい」人にぴったりの入門書です。

ブドウの品種や醸造、テイスティングの基本まで、

全ページイラストでやさしく解説。

ボジョレーヌーボーの季節に、ワインの世界へ一歩踏み出してみませんか？

著者：ファニー・ダリュセック 出版社：日本文芸社

